秋の全国火災予防運動

火は消した？ いつも心に きいてみて

11月９日～15日に実施

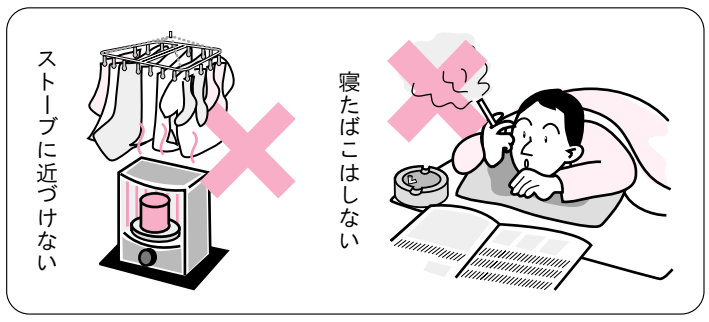
●日ごろの心がけが重要

「火は消した？ いつも心に きいてみて」を統一標語に、秋の火災予防運動が、11月9日（火）～15日（月）に実施されます。

去年、市内の火災件数は45件で、内訳は建物火災が24件、車両火災が6件、その他火災が15件でした。これからの季節は寒さも厳しくなり、火を使う機会も増えます。空気も乾燥していることから、火災発生の危険が極めて高くなります。

火災の予防は、日ごろの心がけが重要です。電気・ガス・暖房器具などの火の取り扱いには一人ひとりが十分注意し、火災から大切な生命・財産を守りましょう。

期間中、消防本部消防署・消防団では、市内の事業所、危険物運搬車両などの査察や消防車両による巡回広報をします。また、市内全域で枯れ草などの調査も実施します。家屋など付近に繁っている雑草が枯れ草となり火災になると危険です。土地の所有者は刈り取るよう、みなさんのご協力をお願いします。



●9～12日に一般家庭を巡回診断

11月9日(火)～12日(金)の4日間、消防署の巡回による一般家庭の防火診断を行います。なお実施地域は、9日(火)、10日(水)は門沢橋地区、11日(木)は中野地区、12日(金)は中河内・本郷地区です。時間はいずれも午前9時ごろ～正午ごろです。詳しくは各自治会の回覧をご覧ください。

●住宅防火 いのちを守る7つのポイント～3つの習慣・4つの対策

〈3つの習慣〉

○寝たばこは、絶対やめる

○ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する

○ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す

〈4つの対策〉

○逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する

○寝具や衣類からの火災を防ぐために、防炎製品を使用する

○火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する

○お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

問 消防本部予防課（☎231・0948）。

今年の防火ポスター㊤秋永美沙子さん㊦山本玲世さんの作品

防火ポスター

市長表彰43点 入選作決まる

消防本部が市内の小・中学生から募集した「平成16年度防火ポスター」の入選作品が決まりました。

応募作品は492点（小学生441点、中学生51点）で、この中から市長表彰43点が選ばれました。また、市長表彰のうち、14点が県消防協会高座支部長表彰を受けました。今年の防火ポスターは、秋永美沙子さん（杉本小）と、山本玲世さん（柏ケ谷中）の作品が他市の受賞作品とともに使用されます。受賞者は次のとおり（敬称略・順不同、◎印14人は県消防協会高座支部長賞も受賞）。

▽小学1年生の部　河井恵太（有鹿）、◎高島帆乃佳（有鹿）、熊谷公雅（杉本）、新沢翼（社家）、相銀河（上星）　▽同2年生の部　木富美佑（東柏ケ谷）、◎小川星奈（上星）、谷拓海（大谷）、◎三田夏菜子（社家）、渡邉麻衣（海老名）　▽同3年生の部　◎熊谷優良（杉本）、木村慧（柏ケ谷）、◎井上悠里（杉久保）、山本芹奈（上星）、金子和広（海老名）　▽同4年生の部　五百木美保（海老名）、小島美紀（上星）、松本琴乃（上星）、◎熊野万里子（上星）、岡川浩平（杉久保）　▽同5年生の部　斎藤菜月（杉本）、西岡未希（杉本）、坂本瑞希（杉本）、出村美紗（杉本）、中川裕貴（杉本）、佐々木愛（今泉）、大島麻衣（上星）　▽同6年生の部　◎谷島有香（上星）、渡邉萌花（上星）、中川直美（上星）、◎秋永美沙子（杉本）、◎高橋千織（柏ケ谷）、◎飯伏彦太（今泉）、◎小林梓（杉久保）　▽中学1年生の部　◎寺田愛（柏ケ谷）、◎鈴木奈緒（柏ケ谷）、金澤亨（柏ケ谷）、須田洋平（今泉）　▽同2年生の部　米山千春（柏ケ谷）、小川諒（柏ケ谷）　▽同3年生の部　梶野将司（今泉）、◎山本玲世（柏ケ谷）、土屋勇太郎（柏ケ谷）。

●応募全作品492点を学校別、市役所で展示

平成16年度防火ポスター応募全作品を、学校別に、展示します。

▽日時　11月9日(火)～17日（水）午前8時30分～午後5時※12日（金）を除く　▽場所　市役所1階エントランスホール。

【9日～11日の展示】柏ケ谷小学校・東柏ケ谷小学校・上星小学校・今泉小学校・杉本小学校・柏ケ谷中学校・今泉中学校。

【15日～17日の展示】有鹿小学校・海老名小学校・大谷小学校・中新田小学校・社家小学校・杉久保小学校・門沢橋小学校・有馬小学校・有馬中学校。

問 消防本部予防課（☎231・0948）。

非行防止啓発ポスター

入賞作品決まる

小岩幸江さんの作品

谷島有香さんの作品

●応募69、最優秀2点

市内の小・中学生を対象に募集した、非行防止啓発ポスターコンクールの最優秀作品2点、優秀作品14点が決まりました(応募作品69点)。

入賞者は、次のとおりです（敬称略）。

◎小学生の部　▽最優秀賞　谷島有香(上星6年)　▽優秀賞　佐々木芳恵(有馬6年)、榎本佑香(社家6年)、刈田未来(杉久保6年)、渡辺佳菜(今泉6年)、八木舞子(杉本6年)、猿田陽子(杉本5年)、鈴木里菜(杉本5年)。

◎中学生の部　▽最優秀賞　小岩幸江（柏ケ谷3年）　▽優秀賞　秋永麻衣子(柏ケ谷3年)、米山千春（柏ケ谷2年)、坂本甚平（柏ケ谷1年)、貝瀬巴菜(大谷2年)、松芝栞（今泉1年)、下津希帆（今泉1年)、山口あかり（今泉1年)。

問 青少年相談センター（☎234・8764）。

市政の現場から

市長 内野 優

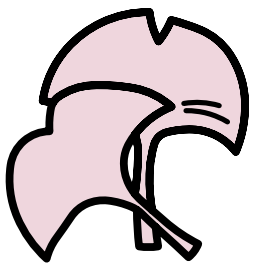
人材

企業でも市役所でも組織が活動するための基本的要素は人材です。優秀な人材をより多く獲得することがその組織の命運を左右します。

私は、10月1日、助役に続いて収入役を市役所内部から登用しました。

私のマニフェストでは「外部登用」がうたわれていますが、人選にあたって外部、内部両面から検討した結果、市役所内部の人材に決定しました。

助役も収入役も私が行政運営をするうえで非常に重要な役割を果たすものであり、その人選はよりよい行政を実現するためのカギとなります。



具体的な要件としてはまず、両者とも地方自治行政に精通していることが第一に挙げられ、第二は私が目指す一連の行政改革に資すること、第三は報酬の2割返上に協力願えることであります。

一方、ここで任期満了を迎えた2名の教育委員のうち、1名は教育長候補としての資質も考慮し教育に精通した方を選定したほか、1名は当面短期間空席とし、公募を行って有能な民間人を登用したいと考えており、現在、その作業中です。

人材登用は、私の行政改革の成否を基準として行うもので、改革実行に市役所内部の人材が適任と判断した結果の内部登用です。これらの人材を得た結果、目的が達成されれば行政の成果として市民のみなさんに明確化できると考えます。

また、私のマニフェストについては、今年中に各界の民間人数名による評価をいただき、その達成度を今年度中に公表していきたいと考えています。

昔から有能な人材を見出して登用することは指導者の最も大切な仕事のひとつであり、私はこの大切さを十分認識したうえで今後も優れた人材の発掘に努めたいと考えます。